

時を越えてつながる 40 周年記念事業

タイムカプセル・プロジェクト

「あれから 30 年、タイムカプセル開封！」



◀「広報はとやま」 No. 241
(平成 4 年 9 月 1 日発行)

町制施行 10 周年と文化会館落成の記念式典の一環として、中央公民館玄関前でタイムカプセルの埋設が行われました。

平成 4 年町制施行 10 周年に、中央公民館前に埋設されたタイムカプセルを、30 年後の令和 4 年に開封します。当時 93 件の応募があり、タイムカプセルに封入した人全員に登録証が渡されました。

開封日時など、詳細等は決まりしだい、広報はとやま及び町ホームページ等でお知らせします。

▶現在のタイムカプセル埋設地
(中央公民館玄関前)



10 年後の自分へ「未来レター」

～ 10 年前の手紙が
あなた(家族・友だち)のもとに！～



▶「広報はとやま」 No. 485
(平成 24 年 9 月 1 日発行)

町制施行 30 周年記念事業の一つとして 10 年後の自分や家族、親しい友人などに送る「未来レター」を募集しました。



町制施行 30 周年記念事業の一環として実施した、10 年後の自分や家族、親しい友人などに送る「未来レター」を、応募された方が当時お書きになった送り先に、役場から郵送いたします。郵送日等は、決まりしだい広報はとやま、町ホームページ等でお知らせします。楽しみにお待ちください。

特集

若手職員プロジェクトチームが企画 鳩山町町制施行 40 周年記念事業

を紹介します



▲7月9日(金)に行われた、RESTEC によるプロジェクトチーム向け研修会

令和 4 年 4 月 1 日に鳩山町は町制施行 40 周年を迎えます。その 40 周年という節目の年に、本町の更なる発展を目指すため、「町制施行 40 周年記念事業」を実施します。事業計画の実施にあたっては、これからの鳩山町役場を担う、20 代から 30 代前半の若手職員でプロジェクトチームを作り(以下プロジェクトチームと表記)、事業の企画から実施までを行います。

今月号では、プロジェクトチーム及びプロジェクトチームが企画した 40 周年記念事業を紹介します。

■問合せ 役場政策財政課 ☎ 296-1212

「事業」は、既に実施に向けて準備を始めています。
今後、プロジェクトチームは、令和 4 年度の事業実施に向けて、関係各課や団体等と連携しながら、運営管理や PR 活動等を行っていきます。



▲グループワークにより事業案を自由に出し合いました。

40 周年記念事業を企画及び実施するために、各課から選出した 15 人のプロジェクトメンバー(事務局は役場政策財政課)は、まず町の持つ魅力や課題などを検討し、それを踏まえて、ブレインストーミング法や KJ 法などのアイデア発想法や、集約法を活用して検討しました。

また、7 月には地球観測センタリー運営事業者である「一般財団法人リモート・センシング技術センター (RESTEC)」による研修会も行われ、事業内容の参考となりました。

鳩山 30 年
これからも

記念事業は町民や各種団体、事業者等が主体となつて参加する「町民等主催事業」と、町が主体となつて実施する「町主催事業」で構成しています。また、「町民等主催事業」の募集とロゴマークの募集など一部の「町主



▲出された意見はプロジェクトチーム全体で共有しました。



みんなで力を合わせて
頑張ります

次に主な 40 周年
記念事業を紹介
していきます。

令和 4 年の事業実施に向けて、町制施行 40 周年記念提案事業の募集など、本格的に準備を開始。

12月	11月	10月	9月	8月	7月	6月	5月	4月	3月	2月	令和3年 1月	令和2年 12月
18日 プロジェクトチーム始動	第1回会議 (リーダー等選出、スケジュール案検討)	第2回会議 グループワークによる事業案検討	第3回会議 (事業案検討)	事業案のとりまとめ	プロジェクトチーム 代表者会議(第4回会議) (事業案に基づく事業実施計画素案の検討)	RESTEC による プロジェクトチーム向け 研修会(第5回会議)	第6回会議 (事業実施計画案検討)	第7回会議 (事業実施計画案修正、 キャッチコピーの検討)	政策会議で、町の事業実施 計画として決定	令和 4 年の事業実施に 向けて、町制施行 40 周年 記念提案事業の募集 など、本格的に準備を 開始。		

町制 40 周年
記念事業の情報は

町ホームページの鳩山町町制施行 40 周年記念事業 特設サイトに順次アップしています

町制施行 40 周年記念事業のそれぞれの実施時期等、詳細につきましては、決まりしだい、町ホームページや広報はとやまでお知らせします。

町ホームページには、町制施行 40 周年記念事業特設サイトを開設しており、そこに順次、情報をアップしていきます。特設サイトは、右記の二次元

コードからご覧ください。

また、定期発行の町広報紙とは別に、「40 周年記念広報紙」も令和 4 年度に制作予定です。そちらも楽しみにお待ちください。



▲特設サイトは
こちらから

町民の皆さんとともにつくる

町制施行 40 周年記念提案事業 及び 町制施行 40 周年記念冠事業を募集中です

「CHECK!



◆町制施行 40 周年記念提案事業

町民・各種団体・事業者の皆さんが協働し、主催する事業で、町民の繋がりを深めるイベントや町の魅力を情報発信する事業を公募しています。

町の記念事業として認定された場合は、町で事業の広報や公共施設等の優先予約、補助金交付(1 事業あたり 30 万円上限、3 事業程度を募集)の特典を付与します。

◆町制施行 40 周年記念冠事業

町民の皆さんにより組織された各種団体、事業者等が実施する事業に対する冠付けや共催、後援等により連携する事業を公募しています。

町の記念事業として認定された場合は、補助金等の交付はありませんが、町による広報活動や公共施設等の優先予約の特典を付与します。

上記 2 つの募集期限は **2 月 15 日(火)午後 5 時** までです。
詳細は広報はとやま 12 月号及び町ホームページをご覧ください。

速報!



鳩山町デマンドタクシーの愛称が 「はとタク」に決定しました

高沢 美智子さん(赤沼在住)考案

鳩山町デマンドタクシーの愛称を、11 月 1 日(月)から 26 日(金)までの期間で募集したところ、町内外から 23 人(23 作品)の応募がありました。審査員により選考された最終候補の 8 作品について、デマンドタクシー内等で 12 月 1 日(水)から 14 日(火)までの期間、一般投票を実施しました。

その結果、最終得票数 64 票(総投票数 180 票)で、高沢 美智子さん(赤沼在住)が「鳩山町のタクシーを省略して言いやすく親しみやすいように」

と考案した「はとタク」が鳩山町デマンドタクシーの愛称に決定しました。

「はとタク」の愛称は今後作成するデマンドタクシーのマグネットステッカーにも記載されます。これからも、「はとタク」の愛称とともに、皆様に未永く愛され親しまれる、デマンドタクシーを目指します。

問合せ 役場政策財政課 ☎ 296-1212

40 周年記念講演会 ～子どもたちに夢を～



地球観測センター運営業者である「一般財団法人リモート・センシング技術センター (RESTEC)」との地域連携協定に基づく事業と併せて、宇宙飛行士または JAXA 職員による講演会を行う予定です。

ロケット打ち上げなど、宇宙事業に携わった方のお話を直接聴くことで、より多くの方に宇宙科学や宇宙開発への理解を深めていただき、科学技術への興味・関心を持っていただく内容とする予定です。(講演の内容は今後変更となる可能性があります。)



町主催の冠事業 を実施

「はとやま健寿まつり」など、町が主催する既存事業、また町が事務局となっている団体等の事業に、町制施行 40 周年事業の趣旨を踏まえた内容を加え、パワーアップしたイベントを実施します。



まだまだあります 主な町主催 40 周年記念 事業のご紹介

日程等、詳細は決まりしだい、広報はとやまや町ホームページ等でお知らせします。また新型コロナウイルスの影響により、事業内容を変更・中止する場合があります。

40 周年記念 PR 動画制作

ドラマ風に町の魅力や特産品等を紹介する PR 動画を現在制作中で、令和 4 年 3 月末に公開予定です。また、プロジェクトチーム独自のオリジナル動画も、令和 4 年度に制作し、公開する予定です。



交通死亡事故ゼロキャンペーン 交通事故体験

鳩山町では、交通死亡事故ゼロが継続しており、このまま継続されれば、令和 4 年 10 月に交通死亡事故ゼロ 5,000 日を達成します。

この節目の年とも併せ、交通死亡事故ゼロキャンペーンとして、例年 11 月に実施されている「はとやま祭り」内で、

JAF との共催により、交通事故体験ブースを設置し、交通安全の啓発活動を強化します。



40 周年記念エコバッグ作成 SDGs レジ袋をもらわない・ ゴミを減らそうキャンペーン

町制施行 40 周年記念のオリジナルデザインエコバッグを制作し、配布します。レジ袋をもらわないことで、ゴミを減らし、SDGs を推進します。

